

ジュニア選手権・ユース選手権・マスターズ選手権 2026年度競技会の方針について①

- 2019年度から2023年度にかけて実施をしてまいりました、「全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会」は、おかげさまで好評につき参加者が増えてまいりました。これを受けて2024年度より競技会の実施形態を変更しました。また各カテゴリーの年齢区分について、競技会募集要項の補足として本資料を記します。
- 2026年度競技会運営方針について
https://ls.jla-lifesaving.or.jp/wp-content/uploads/2026/04/sports_notice_2026-S001_20260409.pdf



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会

ジュニア選手権・ユース選手権・マスターズ選手権 2026年度競技会の方針について②

- ジュニア選手権・ユース選手権・マスターズ選手権は、以下の3つに分けて進行する（ただし、競技日程や会場の都合により、同日併催を前提とする）。
 - **ジュニアシリーズ**
ライフセービングの入り口、ライフセーバーシップの醸成
 - **ユースシリーズ**
自らの意思でやりたくなるスポーツへ、全日本・世界選手権への登竜門、真剣勝負での勝敗を通じた育成、競技力向上に向けた知識の獲得、ライフセーバーシップの体得
 - **マスターズシリーズ**
生涯スポーツとしての楽しみ、自己・歴代記録との戦い

ジュニア選手権・ユース選手権・マスターズ選手権 年齢区分の考え方について①

● ジュニアシリーズ

- 「アンダー制」を採用する。以下の3区分とする。年齢の基準は、その競技会を実施する「年度末に当たる4月1日時点」とする。
 - ① U12 12歳以下 → 2014年4月2日～2016年4月1日生まれの小学5,6年生
 - ② U10 10歳以下 → 2016年4月2日～2018年4月1日生まれの小学3,4年生
 - ③ U8 8歳以下 → 2018年4月2日～2020年4月1日生まれの小学1,2年生

(例) 2026年9月5日(土)の競技会に出場する
2018年3月1日生まれの場合
→ 大会当日は8歳
→ 年度末 = 2027年4月1日時点の年齢で考えるため9歳 → U10に該当
- 個人種目においては、**区分を超えての出場は認めない**（昨年度まで可能としていた、自身の区分より「一つ上の区分」への出場はできないものとする）。
- チーム種目においては、**自身の区分より「一つ上の区分」への出場を可能とする**（U8の選手はU12区分の種目には参加できない。また、U12の選手はユースシリーズには参加できない）
- チーム種目では、男女を分けてエントリーおよびレースを実施する（原則としてチーム種目の男子種目において、女子の混合を認めない。ただし男子種目に限り、男子の人数が不足していて出場が困難な場合のみ、女子競技者を含めてもよい※）。
※あくまでも「男子種目」であるため、その種目の構成メンバーの過半数が男子であること。
また、**1人の競技者が同一種目の複数チームでの出場は認めない**（例：1人の競技者が同一種目のU10区分とU12区分の両方に出場することはできない）。

ジュニア選手権・ユース選手権・マスターズ選手権 年齢区分の考え方について②

● ユースシリーズ

- 「アンダー制」を採用する。以下の2区分とする。年齢の基準は、その競技会を実施する「年度末に当たる4月1日時点」とする。
 - ① U18 18歳以下 → 2008年4月2日～2011年4月1日生まれの高校生
 - ② U15 15歳以下 → 2011年4月2日～2014年4月1日生まれの中学生

(例) 2026年9月6日(土)の競技会に出場する
2011年3月1日生まれの場合
→ 大会当日は15歳
→ 年度末 = 2026年4月1日時点の年齢で考えるため16歳 → U18に該当
- 区分を超えての出場は認めない（原則として、昨年度まで可能としていた、自身の区分より「一つ上の区分」への出場はできないものとする）。ただし、「U15」の種目設定がなく、「U18」にしかない種目に限り、U15の競技者の出場を認める（サーフスキーレース、など）
- 個人種目・チーム種目共に、男女を分けてエントリーおよびレースを実施する（チーム種目の男子種目において、女子の混合を認めない）。
- チーム種目では、1人の競技者が同一種目の複数チームでの出場は認めない（例：1人の競技者が同一種目のU15区分とU18区分の両方に出場することはできない）。

ジュニア選手権・ユース選手権・マスターズ選手権 年齢区分の考え方について③

● マスターズシリーズ(1)

- 年齢区分は、以下の5区分とする。「ビギナークラス」とは、これまでライフセービングスポーツの経験が浅い人を対象とし、20歳以上であれば年齢区分を不問とする。年齢の基準は、その競技会を実施する「年末に当たる12月31日時点」とする。ただし、20歳以上でも大学・大学院・専門学校に属する者は本競技会シリーズの出場対象外とする。

- ① ビギナークラス ※このクラスのみ総合得点の加算対象外とする
- ② 20-29歳
- ③ 30-39歳
- ④ 40-49歳以上
- ⑤ 50歳以上 ※新設

(例) 2026年9月5日(土)の競技会に出場する
1996年10月1日生まれの場合

→ 大会当日は29歳

→ 2026年12月31日時点の年齢で考えるため30歳 → 30-39歳に該当

● マスターズシリーズ(2)

- チーム種目に限り、「該当種目に出場をするチームメンバーの合計年齢」で考えるものとする。2区分とし、その分け方の考え方は、30歳、40歳を基準にその種目の必要人数を乗じたものとする。

(例) : 3人種目の場合→30歳×3人=90歳が基準

1. 89歳以下

2. 90～119歳

3. 120歳以上 ※40歳を基準とする

- 個人種目では、男女を分けてエントリーおよびレースを実施する。
- チーム種目では、男女混合でのチーム編成を可能とする（男子のみ、女子のみ、でも構わない）。ただし、1人の競技者が同一种目の複数チームでの出場は認めない（例：1人の競技者が同一种目の90～119歳以下区分と120歳以上区分の両方に出場することはできない）。
- 各種目において、エントリー数が少ない場合は、他の年齢区分と一緒にレースを行う場合がある。なお、ビーチフラッグスに限り、最少催行人数を設定する。

ジュニア選手権・ユース選手権・マスターズ選手権 年齢区分の考え方について⑤

- ジュニアシリーズ・ユースシリーズの年齢の分け方について
文部科学省が定めている指針に基づき、考えることとします。

(参考)

・ 4月1日生まれの児童生徒の学年について

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shugaku/detail/1422233.htm#:~:text=%E3%82%88%E3%81%A3%E3%81%A6%E3%80%814%E6%9C%881%E6%97%A5,%E3%82%8B%E3%81%93%E3%81%A8%E3%81%AB%E3%81%AA%E3%82%8A%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82

- マスターズシリーズの年齢の分け方について
ILS競技規則「S2-11. 年齢区分 AGE CATEGORIES」に則ります。

(参考)

・ ILS競技規則

<https://www.ilsf.org/wp-content/uploads/2026/05/ILS-2025-Competition-Rulebook-Revised-May-2026-Highlight-1.pdf>

・ JLA競技規則2025年版（2025.09.01版） 第2章共通競技総則

https://ls.jla-lifesaving.or.jp/wp-content/uploads/2025/08/JLA_copme-rule_2025_02.pdf